

御嶽山(2011年新年山行)

2011年1月16日 リーダー:饗庭和重



山頂にて全員です

新年山行報告 饗庭 和重

1月の新年山行ありがとうございました。春日部出発のときの雪模様には驚かされましたが、現地はとてもよい山行日和。みんなで持ち寄ってきた鍋の材料で作った味は御嶽山の登山とあわせて忘れられない山行となりました。ありがとうございました。

帰りの温泉は記載されていたところと違ってすみませんでした。でも今までより最長の入浴時間が取れてよかったです。部屋の手配等ありがとうございました。いつも思うのですが、何気なくそれぞれの人が気配りをしてくれているのでリーダーとしてうれしいハイキングクラブです。(わたしが一番気が利かないクラブ員かもしれません。) 山道はコルクを敷き詰めたようなふわふわした感触で、チップを敷き詰めた山道をかつて歩いたことがありましたが、それ以来のよい感触の道でした。23名が笑顔で行って来られた新年山行で今年のよいスタートが切れたように思います。



鏡岩横の登り



トン汁鍋

撮影・コメント:藤井一義



岩山頂上

1月感想 豊島 泰 テクニカルなこと。

- 1) 降りの際は今一度、靴紐を締めなおしましょう。
- 2) 軍手の着用なども有効です。
- 3) 斜度によってはストックは使用しない事(ザックに着けて両手は開けておく)。
- 4) 急な坂道での降りでは、前の人と充分間を空けましょう。(玉突き事故の危険性を意識しましょう)
- 5) 間を空けて、足の置き場やレスト・ポイントまでの見通しなどのシミュレーションをしてみましょう。
- 6) 升りもですが、歩幅は意識して小さくして降りましょう。以上、生意気かもしれません、ちょっと気になりました。今年も事故のない山行を心がけましょう。以上。



山頂景色晴れだー



金鑽神社拝殿にて



さあ鍋ですよ

2月の山行案内

完璧な美貌、4千本花梅と岩壁の湯河原梅林！

幕山の梅は食用ではなく観賞用に植えられた梅の木なので胸を打つ美しさで白梅と紅色がほどよく混ざり、まるで花嫁の内掛けのようです。今年は開花が早く当日は満開のようです。登路は顔に降りかかる梅花のトンネルを抜けメジロの群れ、ヒヨドリが花の間から顔を出します。登路はゆるく広くルンルン気分です。疲れが出はじめたころ広い草原の頂につきます。眼下に逆光に光る相模湾長く伸びる真鶴半島。背後には箱根連山、思い思いに弁当を食べましょう。下りは周遊コースをめぐって別ルートを下ります。時間があれば湯河原梅林「梅の宴」を楽しみます。食べ物やお土産品があります。今回はバスルートが長いために温泉入浴はパスします。

日時: 2月27日 (日)

出発: 春日部6時発／せんげん台6時15分発

連絡事項: 鍋はやりません。

昼食持参頂上で食べます。

温泉入浴はありません。

登路は約1時間強で3時間の行程時間です。

山行申込: 事前申込者は14名ですが山行参加者を追加受け付けます。

2月20日まで伊藤に電話ください。

